子宮鏡下手術を受けられる(　　)さんへ

入院時に持参してください　　**説明日(　　/　　)**　　**説明者氏名(　　)**　　STA0900080

月日(日時)	(　　/　　)	(　　/　　)		(　　/　　)	(　　/　　)
経過(病日等)	手術前日	(手術前)	手術当日　(手術後)	手術後1日目	手術後2日目
達成目標	◇手術の必要性を理解し、手術に同意できる ◇手術の準備ができる	→	◇血圧・脈拍・呼吸が安定している ◇痛みが和らぐ　異常な出血がない ◇足の腫れや痛み、胸の痛み、息苦しさがない	→ → → ◇退院の生活について理解できる	【退院基準】 発熱(38℃以上)がなく、採血においても炎症反応がみられない 創部の異常出血が見られない
治療・薬剤 (点滴・内服)	入院時に持ってきた全ての薬と薬手帳をスタッフにお渡し下さい	点滴を行ないます 先生の指示により起床時に薬を飲む事もあります	→	点滴終了です 手術前から内服している薬がある方は医師の指示で薬を再開します	
処置	診察があります 子宮口を広げる処置をすることがあります(処置をした時夕食後に抗生剤を内服します) 必要な場合は、診察時に手術部位の毛をカットします	手術用の寝巻に着替えます 血栓予防のため、弾力ストッキングを履くことがあります　指示があるまで履いたままとなります	酸素マスクをします　→除去します 心電図モニターをつけます 適宜、検温を行ないます	術前に抗生剤の内服をした方は朝食後から抗生剤を内服します。飲み切り終了です。	
検査	採血があります			採血があります 先生が退院可能かの診察を行います	
活動・安静度	病院内自由です		ベッド上で安静です 寝返りは出来ます	翌朝から看護師と一緒に立つ練習や歩く練習をします	制限はありません
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します 履きなれた靴を使用して下さい	手術室ではフルネームと手術部位を言っていただきます		歩き始めはふらつくことがあるので、注意しましょう 安静の制限はありません	
食事	なるべく病院食を食べて下さい 手術前日の夕食は流動食です それ以降の食事・飲水はスタッフが説明します	水分も食事も摂れません	麻酔が切れ、意識がはっきりしたら、看護師付き添いで水分が摂れます 夕食から流動食が来ます	朝から普通のご飯が来ます	特に制限はありません
清潔	シャワーに入りましょう 髪を洗いましょう 爪を短くしましょう	洗面・歯磨きをしましょう		体拭きをします	シャワーができます 次回の受診日まで シャワーを使用下さい
排泄	制限はありません		必要時術中に尿の管をいれます 便意をもよおしたらお知らせ下さい	尿の管が入っている時は歩けたら管を抜きます	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟内をご案内します 医師が入院診療計画書の説明をします 手術に必要な物品を確認しますので、1つの袋にまとめて下さい 薬剤師がお薬の説明をします 麻酔科の先生や手術室看護師が病室に来ますので、なるべくお部屋にいて下さい	入れ歯・時計・指輪・湿布・　眼鏡・コンタクトレンズ等は手術前に必ず外しましょう 貴重品や金庫の鍵は家族に預けましょう ご家族の待機場所は、東5のデイルームでお願いします ★待機場所を離れる際は必ず看護師にお知らせ下さい	手術が終了したら、東5階の自分のお部屋に戻ります 痛みがある時は痛み止めを使いますので、遠慮なく教えて下さい 手術が終了したら先生からお話があります 先生のお話の後は患者さんと面会できます (面会時間は短時間です)	退院指導を行います 【退院後の生活について】 ★日常生活に制限はありませんが、無理をせず、マイペースに慣らして下さい ★性生活は出血が落ち着くまでは控えて下さい ★生理2日目の様な赤い出血が多く続く時はご連絡ください	次回の外来受診日を必ずご確認下さい 退院前に薬剤師がお薬の説明をします ※退院時間は9:30～10:00です
	必要時当病棟を担当する医療ソーシャルワーカーがお話を伺います。退院や転院までの支援を行いますので、何かありましたら遠慮なくお話下さい。			診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください →	

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2:入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院　婦人科　東棟5階病棟
2023年8月　改訂